

研究活動報告

Project 1

黒澤 満

プロジェクト1の研究課題は「国際共生の研究」であり、国際社会における国際共生の現状分析および将来のあるべき姿を研究することである。これまでの研究において、「国際共生とは、国際社会における行動主体の間において、お互いに積極的に努力し協力し、両者にとってともにプラスに働く状況を作り出すことであり、国際社会全体をより平和で安全なまた公平なものにすることを目指すものであり、また個々の主体間だけでなく、国際社会全体の利益を促進するものである」ことを確認してきた。

過去1年間のプロジェクト1の活動は、「国際共生と広義の安全保障」の研究に集中してきた。すなわち広義の安全保障の諸問題を国際共生の観点から分析することである。広義の安全保障はまず縦軸で、国家の安全保障から人間の安全保障および地球の安全保障へと広がっているとともに、横軸で軍事的安全保障から経済安全保障、エネルギー安全保障、食糧安全保障、水の安全保障、環境安全保障などさまざまな領域に拡大している。さらに共通の安全保障や協力的安全保障、包括的安全保障などさまざまな新しい概念が示されている。

プロジェクトは以下の8人による論文執筆を中心に推進し、出来上がった論文を各自が研究会で報告し、全員で議論してより良いものにする努力を行い、国際共生研究所叢

書4としての刊行に至った。

その内容は、黒澤満教授が「核軍縮と『人類の安全保障』について、国際基督教大学の千葉眞教授が「平和憲法と『非戦型安全保障』」について、奥本京子教授が「安全保障アプローチから紛争転換を軸とした平和アプローチへの移行」について、広島修道大学の佐渡紀子教授が「国際共生と『共通の安全保障』」について、青山学院大学の福島安紀子教授が「国際共生の礎を築く『人間の安全保障』」について、香川孝三教授が「職場の労働安全と『人間の安全保障』」について、西井正弘教授が「『環境安全保障』における持続可能な開発」について、長尾ひろみセンター長が「エジプトの教育改革から見る『教育の安全保障』」について論じており、それぞれが国際共生の観点から広義の安全保障に関する課題を研究し執筆している。



川孝三教授が「職場の労働安全と『人間の安全保障』」について、西井正弘教授が「『環境安全保障』における持続可能な開発」について、長尾ひろみセンター長が「エジプトの教育改革から見る『教育の安全保障』」について論じており、それぞれが国際共生の観点から広義の安全保障に関する課題を研究し執筆している。

研究会では、各自の論文発表に基づいて、厳しい批判を含む充実した議論が積み重ねられてきた。その結果、個々の論文のレベルアップが図られるとともに、論文集としての全体の一体性の確保にも大きな進展が見られた。それぞれのタイトルからうかがえるように、広義の安全保障として、人類の安全保障、非戦型安全保障、共通の安全保障、人間の安全保障、環境安全保障、教育の安全保障の側面が深くかつ鋭く検討されたものである。

平和・人権研究会 (Project 1)

- | | |
|----------|---|
| 第 44 回 | 日 時: 2015年10月14日 |
| | 報 告 者: 平井孝子 (大阪女学院大学大学院 博士前期課程) |
| | タ イ プル: "Child Labour in the Philippines" |
| | 報 告 者: 山田幸代 (大阪女学院大学大学院 博士前期課程) |
| | タ イ プル: "Identity of Japanese women living in New York" |
| 第 45 回 | 日 時: 2015年11月4日 |
| | 報 告 者: 前田美子 (大阪女学院大学教授) |
| | タ イ プル: 「開発プロジェクトの現地スタッフに対する給与補填問題」 |
| 第 46 回 | 日 時: 2015年12月2日 |
| | 報 告 者: Debby Elfrida Panjaitan (大阪女学院大学大学院 博士前期課程) |
| | タ イ プル: "Factor that influence cheating activity in Indonesia" |
| | 報 告 者: Hnin Oo Kyaw (大阪女学院大学大学院 博士前期課程) |
| | タ イ プル: "Comparing English education of university students in Myanmar and Japan" |
| 第 47 回 | 日 時: 2015年12月9日 |
| | 報 告 者: 樋川和子 (大阪女学院大学大学院 博士後期課程) |
| | タ イ プル: "Safeguards System to prevent proliferation of nuclear weapons" |
| 第 48 回 | 日 時: 2015年12月16日 |
| | 報 告 者: Gabriela Georgescu (大阪女学院大学大学院 博士前期課程) |
| | タ イ プル: "Patterns of CSR in the Philippines: A Study Case on Japanese Companies Operating in the Philippines" |
| | 報 告 者: 山田幸代 (大阪女学院大学大学院 博士前期課程) |
| | タ イ プル: "Identity of Japanese women living in New York" |
| 第 49 回 | 日 時: 2016年1月27日 |
| | 報 告 者: 黒澤満 (大阪女学院大学教授)、奥本京子 (大阪女学院大学教授)、香川孝三 (大阪女学院大学教授) |
| | タ イ プル: 「国際共生と広義の安全保障」 |
| 第 50 回 | 日 時: 2016年4月13日 |
| | タ イ プル: 福島安紀子、千葉眞、佐渡紀子論文の検討 |
| 第 51 回 | 日 時: 2016年5月18日 |
| | 報 告 者: 長尾ひろみ (大阪女学院大学教育研究センター長) |
| | タ イ プル: 「エジプトと日本の教育を軸とした国際共生」 |
| 第 52・53回 | 日 時: 2016年6月8日、7月6日 |
| | 報 告 者: 西井正弘 (大阪女学院大学教授) |
| | タ イ プル: 「環境安全保障における『持続可能な開発』」 |
| 第 54 回 | 日 時: 2016年10月12日 |
| | 報 告 者: 竹澤由記子 (大阪女学院大学特任講師) |
| | タ イ プル: 「戦後ノルウェーのセキュリティ・アイデンティティについての考察」 |